

●三位一体後第五主日

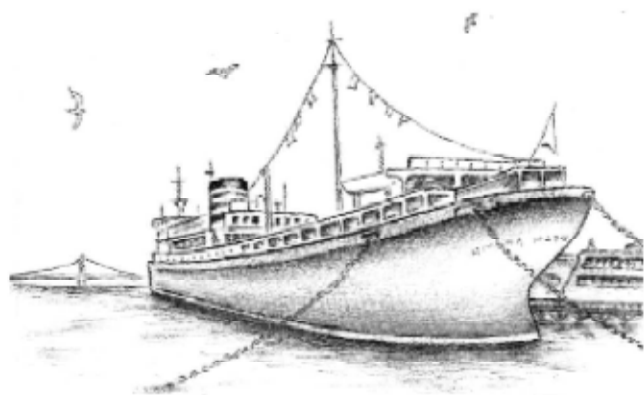
# 泉のほとり

今日の詩篇「第一二編」

主よ、あなたはその仰せを守り

この代からとこしえに至るまで

わたしたちを見守ってください。



## 復活の根拠

今日は諸聖徒記念礼拝です。既に天に帰られた諸聖徒の写真が掲げられました。なつかしく思い起こす人もいるでしょうね。

こういうときにわたしたちは、自分たちの地上の命には終わりがあるという、当たり前のごとくに普段は忘れていたことを、改めて思い起こさせられます。わたしたちは誰もが、いつか必ず死ぬのです。

終わりがあるのですから、始まりもあつたのです。わたしたちが生まれたときです。その前は、わたしたちはどこにもいませんでした。いなかつた人間が、どうしているようになったのでしょうか。

それは偶然だという人もいますし、運命だと考える人もいます。でも聖書は明確に、わたしたちは神さまに造られているのだと言っています。偶然生まれた人なら偶然に消えるでしょう。運命で生まれた人なら運命で消えるでしょう。でも神さまに造られたのなら、わたしたちがどうなるかは、神さまがお決めになるのです。無から命を造り出される神さまは、わたしたちをもう一度生かすことがおできになるからです。

復活はないと考えたユダヤ人が、主イエスに質問をしました。七人の兄弟の妻になつたひとりの女性は、復活したとき誰の妻になるのか、ということです。主は明確に、復活した人は天使のような存在なので、結婚することはないと言われまし

た。夫婦の関係はこの世だけのものです。生きているときに、お互いを大切にしましょう。

さらに主は、モーセが初めて神さまにお会いしたときの出来事に触れて、モーセが神さまを「アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神」と呼んだと言われます。正確には、モーセが呼んだのではなく、神さまがそう言っていて自己紹介をされたのです。

アブラハムもイサクもヤコブも、モーセの時代から八百年も前の人です。でも神さまは死んだ者の神ではなく、生きている者の神なので、神さまがそう自己紹介をされた以上、アブラハムもイサクもヤコブも生きていて、それが復活の根拠だと主は言われたのです。

主イエスが来てくださったのは、わたしたちの罪が赦されて、神さまのもとへ取り戻されるためです。主イエスを通して、神さまは「わたしはあなたの神」と言われるのです。主イエスを信じて洗礼を受けることは、その神さまの御心を感謝して「あなたはわたしの神、わたしはあなたのも」とお答えすることです。そのとき、神さまとわたしたちの間に、死でさえも壊せない強い結びつきが生まれます。そして神さまは「わたしはあなたの神」と言い続けてくださいます。それが復活の根拠であり、わたしたちに与えられた永遠の命なのです。

(ルカ二〇・二七〜四〇)

## 祈り

○ 変わらざる恵みをもって、わたし共の一日一日をかけた主イエス・キリストの父なる御神。今、その主の恵みに改めて深く気づき、これを感謝するためにここに集まってきました。

暑さの増し加わるこの時期も、あなたによってよく生かされてきたと感謝することが出来ます。それだけに、このときも病床の闘いを続けなければならぬ者、人生の厳しい闘いを耐えている者たちの多いことを思います。喜びの体験をする者もあれば、なお試練の中にある者もいることを思います。望みが閉ざされている者もあれば、望みが閉ざされている者ではないかという不安を抱えている者もあります。それらのさまざまな思いが今ここに集められて、ひとつの祈りとなり、ひとつの讃美となります。心から感謝いたします。あなたがわたし共を常に支えていてくださるからであります。そのことに気づくとき、日々の生活の中で、あなたのその恵みにどんなに疎い者であったかを改めて思うものであります。

恵みに生かされているのであれば語ることががなかった言葉を語り、するはずがなかった行いを行ってきたことを今ここに思い起こして、心から恥じる者であり

ます。あなたの憐れみをもってわたし共を捉え直し、望みをもって明日も後日も行き得る確信を与えてください。あなたの祝福の中にいるとの確信を持つことができますように。自分の人生があなたの祝福の中へと向かっていることを信じ、頭を上げて生きる事ができますように。それぞれに相応しい形で御言葉を聞かせてください。御霊の注ぎの中に立たせてくださいますようにお願いいたします。

わたし共の国、わたし共の世界を顧みのうちに置いてください。人が人として世界を作り続けていくことが、人間らしい生活を作っていくことが、どんなに困難であるかを思い知らされる日々であります。争いがあり、憎しみがあり、あなたが手を差し伸べてくださらなければ滅びるよりほかないのではないかと思ってしまう。どうぞ、そのような中で教会を支えてください。わたし共の教会もあなたの平安によって生かされ、平安を告げることのできる教会として、皆で祈り、奉仕の手を差し伸べ合い、お互いに助け合い、慰め合って生き続けることができますように。

わたし共の日々の歩みを支えてくださいますように。今、ここにささげます礼拝を望むの時とし、愛と恵みに満ちた時としてくださいますように。

主イエス・キリストの御名によって、感謝し、祈り願います。アーメン

(加藤常昭、み前にそそぐ祈り、より)

## 今日のお知らせ

○ 第一礼拝で教会学校の一学期終業式をします。精勤生徒の表彰があります。

○ 第一礼拝後、教会学校と並行してロビーでのコーヒーサービスと、園舎二階のリズム室では、「ぶどうの会」が開かれます。

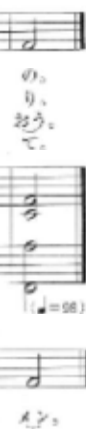
○ 同じく第一礼拝後二〇時四〇分より一時まで、幼稚園舎一階のコスモスの部屋(礼拝堂に一番近い部屋)で、紫園香音楽伝道師の指導による賛美と祈りの会が開かれます。

○ 第二礼拝後、ホールで、讃美と報告の会を行います。お昼はお介当です。

○ 午後二時から七月の定例役員会をカナルームで行います。その初めの部分で、試問会を行います。

○ 再来週三〇日(日)一回礼拝後に行われる教員研修会に参加予定の方は、今日中に申し込みをお願いします。

○ 今週一八日(火)午後七時から、コイノニアキャンプ参加者の準備会をホールで行います。



## 第1礼拝 第2讚美歌

HERZ UND HERZ VEREINT ZUSAMMEN  
詞: Nicolaus L. von Zinzendorf, 1700-1760

HERZ UND HERZ VEREINT ZUSAMMEN  
曲: Bartsch, 1702

1 こ る を ひ と つ に へ い お を も と め  
2 こ め る を ひ と つ に へ い お を も と め  
3 こ め る を ひ と つ に へ い お を も と め  
4 こ め る を ひ と つ に へ い お を も と め

上 は わ れ ら の も の の 主 の  
つ よ う め て く の だ も さ の い お の  
き せ か だ い に し し め そ と う 主 の も の に  
あ に で い わ し

主 を い ま す と あ と い あ が る く も や そ  
あ の の と ち の こ の た め を に を た い の ら に を す か て う  
ぞ や の 日 が く た め の を を わ の ら は の ち の ぞ お う  
や の の 日 が く た め の を を わ の ら は の ち の ぞ お う

主 は ば ら ど う の ず み さ わ れ ら ち の の え だ  
わ わ ら の ら の か た り が が に け ま ま こ の と あ い き も を  
上 の の ひ か た り が が に け ま ま こ の と あ い き も を

### 聖書の会へどうぞ

7月19日(水)

●朝の聖書の会(10時)

「聞く耳を持って」

マタイ13章1〜23節

古村和雄 牧師

●聖書の夕べ(19時)

「預言者と教師がいた」

使徒13章1〜3節

黄允泥 副牧師

### ミニコンサート

7月20日(木) 12時30分

「前奏曲とフーガ 変ホ長調」他

オルガン演奏

### 次週礼拝

●第1礼拝(午前9時30分)

讚美歌 讚21 205番 讚21 393番

説教 「必要なことはただ一つ」

聖書 ルカ10章38〜42節

説教者 黄允泥 副牧師

●第2礼拝(午前11時10分)

讚美歌 3番 276番

詩編 第12篇

説教 「主イエスのみを誇りとして」

聖書 IIコリント10章12〜18節

説教者 古村和雄 牧師



## 第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 讃21 205番

讃21 393番

説教 「わたしの隣人とは」

聖書 ルカ10章25～37節 (新約P126)

司式 山名隆史兄

説教者 聖餐司式 吉村和雄 牧師

前奏曲「アダージョ」W.A.モーツァルト

○ 讃美歌 21 205番

1. 今日が光が 造られた日よ  
闇の中にも 「光かがやけ」

2. 今日が聖なる 安息の日よ  
疲れた心 新たにされる

3. 今日が平和が 満ちあふれる日  
あらい騒ぐ 波もしずまる

4. 今日がみ神に 共に祈る日  
心を高く み前に上げよう

5. 今日が主イエスの よみがえりの日  
われらを生かす 愛をたたえよ

○ 教会学校生徒による讃美  
「地球のどこかで」

○ フルートによる讃美  
「キリストにはかえられません」 G.B.シェー

○ 讃美歌 21 393番 (3面に楽譜があります)

1. ところを一つに 平和を求め  
主を愛する愛 明るく燃やそう  
主はぶどうの幹、われらその枝  
主はわれらのもの、われら主のもの

2. 恵みの子たちよ、交わり深め  
愛とまこととを 互いに臂おう  
われらのきずなが 弱まる時も  
強めてください、主の愛により

3. 主はわれらのため 苦しみを受け  
その友のために 命を捨てた  
われらも互いに まことの愛を  
兄弟姉妹と 共に分け合おう

4. 分かれた民が 一つにされる  
その日が来るのを われらは望もう

## 第二礼拝 (午前11時10分)

讃美歌 74番 320番

詩編 第12篇 (旧約P843)

説教 「あなたの心はどこに」

聖書 マタイ6章16～20節 (新約P10)

司式 山名隆史兄 聖餐司式 吉村和雄 牧師

説教者 黄允湜 副牧師

前奏曲「ただ愛する神により頼む者は」 J.S.バッハ

○ 讃美歌 74番

○ フルートによる讃美  
「キリストにはかえられません」 G.B.シェー

○ 聖歌隊による讃美

1. 飼い主わが主よ まよう我らを  
若草の野辺にみちびきたまえ  
我らを守りて やしないたまえ  
我らは 主のもの 主にあがなわる
2. みいつくしみをば 我らにみたし  
今よりみむねを なさしめたまえ  
我らをあわれむ み恵み深し  
我らは 主のもの 主をのみ愛す  
主をのみ愛す

○ 讃美歌 320番

聖餐曲「無伴奏フルート・ファンタジー第4番より」  
G.Ph.ヘンツ

後奏曲「フーガ ト長調」F.メンデルソーン

主の光を受け その輝きを  
世界に示そう、主の弟子として

聖餐曲「無伴奏フルート・ファンタジー第4番より」  
G.Ph.ヘンツ

後奏曲「フーガ ト長調」F.メンデルソーン

※礼拝には、聖書、讃美歌、礼拝のしおりを毎週お持ちください。